

各 位

2021年2月15日
株式会社天夢人

日本最大級の貨物駅「東京貨物ターミナル駅」を徹底取材
コンテナや機関車など貨物鉄道にまつわるあれこれもわかりやすく解説
『貨物鉄道読本』を刊行

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝峰富雄）は、2021年2月17日に、『貨物鉄道読本』を刊行いたします。



日本の物流を支える「貨物鉄道の今」を一冊に

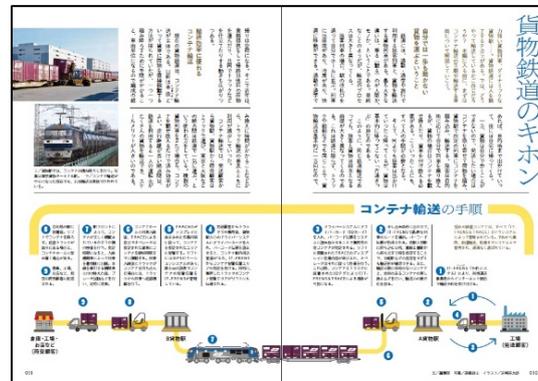
かつては日本全国を走っていた貨物列車ですが、今も走っているのはごく限られた路線です。しかし、それは鉄道による貨物輸送が衰退したのではなく、細かな地域はトラック、大都市間は鉄道、と輸送効率に合わせて役目を大きく変えたからです。

近年は、以前から注目されていたエコロジーさに加え、労働力不足に伴う効率性も重視され、需要が増加し続けています。

そこで、本書では貨物鉄道の社会的、経済的な役割を追求するため、日本貨物鉄道株式会社（JR 貨物）や利用者でもある佐川急便株式会社にインタビュー。鉄道利用への促進策や知られざる貨物需要の実態、来る労働人口減少の時代への取り組みなどを伺いました。さらに輸送効率を高めるために改良を重ねる機関車やコンテナなども詳しく解説。硬軟取り混ぜた、読み応えのある1冊です。

貨物鉄道にまつわる基礎知識を分かりやすく解説

貨物鉄道の主力であるコンテナ輸送の仕組みや、貨車に荷物を直接積載する車扱(しゃあつかい)輸送など、貨物鉄道にまつわる基礎知識をわかりやすく解説しています。



日本最大級の貨物駅「東京貨物ターミナル駅」を徹底取材

日本最大の貨物駅である「東京貨物ターミナル駅」。首都圏発着の多くの荷をさばく鉄道貨物輸送の最前線、そしてそれを支える鉄道員たちの仕事を徹底取材しました。



貨物列車を牽く機関車を形式ごとに紹介

貨物列車の大きな魅力は、力強く貨車を牽引する機関車にあります。JR 貨物が開発した次世代機から、今なお走る国鉄型の機関車まで、形式ごとに詳しく解説しています。



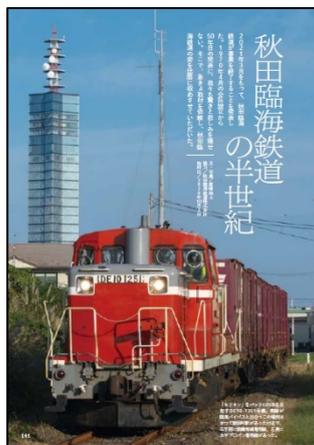
多種多様なコンテナにも詳しくなる

コンテナはただの箱ではありません。野菜などを輸送する通風コンテナ、加工食品を輸送する冷凍コンテナ、さらに液体を輸送するタンクコンテナ、屋根のない無蓋コンテナなど多種多様。大きさや用途、積み荷を知ると、貨物列車がもっと楽しくなります。



貨物鉄道の「今」を伝えるインタビューやルポを掲載

輸送主体である JR 貨物、貨物鉄道を活用する佐川急便へのインタビューや、2021 年 3 月に廃止となる秋田臨海鉄道のレポートなど、貨物鉄道のこれまでとこれからを伝える記事を掲載しています。



●目次●

- 第1章 貨物列車の基礎知識
- 第2章 東京貨物ターミナル駅のすべて
- 第3章 貨物列車を牽く機関車
- 第4章 コンテナ列車を知る
- 第5章 貨物鉄道の取り組みと展望
- 第6章 産業を支える臨海鉄道・私鉄貨物

【書誌情報】

書名:貨物鉄道読本

仕様:A5判、160 ページ

定価:1800 円+税

発売日:2021 年 2 月 17 日

全国書店、オンライン書店の Amazon など で 発 売 予 定

<https://amzn.to/2M54wj1>

※本書は旅と鉄道 2019 年増刊 12 月号『鉄道貨物入門』および 2020 年増刊 11 月号『貨物と鉄道 2020』をベースに再編集しています。

【株式会社天夢人】 <https://temjin-g.com/>

2007 年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道(奇数月 21 日発売)』をはじめとする、鉄道・旅・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証 1 部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社天夢人 担当:林・篠原

Tel: 03-6413-8755 / E-mail: info@temjin-g.co.jp

URL: <https://temjin-g.com/>